

平成29年度 施策評価シート（平成28年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
 施策 01 生活環境の保全
 主管課： 生活環境課
 関係課： 財政課、経済課、建設課、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民，事業者，行政	意図（どのような状態にしたいのか） 快適な生活環境が守られ、環境にやさしいまちをつくる。
-------------------------------	---

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

良好な生活環境が保たれていると思う市民の割合 (％) 生活環境課					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
78.80	75.80	77.50	78.00	78.50	80.00
向上指針	上がると良い	(状況) 良好な生活環境が保たれていると思う市民の割合は77.5%で、昨年度比1.7ポイント増加しました。基準値からは微減となりましたが、目標値との統計誤差の範囲内で推移しています。 (原因) アンケート結果を居住地区別に見ると、8地区中5地区で「思う」が75%を超えています。大野地区69.6%、大井沢地区71.4%と既存集落が比較的低い数値となっています。また、年代別に見ると、10歳代100%、20歳代89.9%に対し、65～69歳代71.5%、70歳以上70.7%と、若い世代で高く、高齢になるに従い低下する傾向となっています。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

1 契約1月当たりの平均電気使用量 (Kwh) 生活環境課					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
306.00	0.00	0.00	0.00	0.00	288.00
向上指針		※28年度4月より、電力自由化に伴い販売データの提供が東京電力より受けられなくなったため、指標値の取得ができなくなった。			
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

自然環境に満足している市民の割合 (％) 生活環境課					
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
79.30	74.30	78.80	79.00	79.50	81.00
向上指針	上がると良い	(状況) 自然環境に満足している市民の割合は78.8%で、前年度比4.5ポイント増となりました。基準値からは統計誤差内ではありますが微減となっています。 (原因) アンケート結果を居住地区別に見ると、大井沢(66.1%)を除く地域で「満足している」が概ね75%以上となっています。年齢別では、30歳代から50歳代で80%を超えています。斜面林等の保存緑地の取得など自然環境保全の取り組みが評価につながっているものと考えられます。			
対前年度	向上				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H26年度 決算	H27年度 決算	H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込
事業費合計	105,292	92,821	49,219	45,527	45,419
人件費	0	0	19,476	0	0
トータルコスト	105,292	92,821	68,695	45,527	45,419

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向				事業費				
					H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
01 生活公害・産業公害の防止	低下	向上			91,986	50,113	46,083	45,064	45,072
02 地球温暖化対策の推進	横ば	向上			10,055	42,253	294	321	321
03 環境保全活動の推進	横ば	向上			51	94	124	116	0
99 施策の総合推進					3,200	361	2,718	26	26

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

第2次守谷市環境基本計画に基づき、市民、事業者へ環境活動の輪を広げるため、活動事例の紹介や参加を呼びかけるなどのきっかけ作りとともに、環境学習機会の創出に努めていきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

環境保全活動の推進、公害対策に継続して取り組むほか、地球温暖化対策では、第三次守谷市役所地球温暖化防止実行計画の策定を進め、新たな目標値を設定し、市の事務事業を実施するに当たり排出される温室効果ガスの削減に取り組んでいきます。 また、昨年度策定した第2次守谷市環境基本計画（目標年次：平成37年度）に掲げた環境指標の達成に向け、適切な進行管理を行っていきます。さらに、市の環境全般に関する「環境報告書」を作成し公表することで、市民の環境に対する意識向上を図っていきます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

第2次守谷市環境基本計画に基づく市の取組状況や成果をまとめた環境報告書を作成・公表するほかSNS等を活用して環境活動情報を周知することで、市の自然環境・生活環境に関心を持ち、環境活動に参加する市民や事業者の増加に努めます。 第3次守谷市役所地球温暖化防止実行計画を策定し、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持